

## 適切なかかわりのためのガイドライン完成！

保育園での預かりの中で不適切なかかわり方が散見された昨年。厚生労働省から各自治体に「不適切保育チェックリスト」をつくるように通達がありました。こどもたちが預けた保育園で楽しく元気に過ごすことが保護者の願いでもありますよね。チェックリストをつくるお手伝いをしました。

### ☆適切なかかわりのためのガイドライン

不適切保育チェックリストは、さまざまな自治体が作成しています。お手伝いした自治体の担当者（保育士）さんは、他の自治体のチェックリストを見ると、自分はどうのように保育をしたらいいのか？が分からなくなってくる…、とのことでした。もっと保育が前向きになるようなチェックリストができないだろうか？との発想からオファーをいただきました。

各保育園でのワークショップをベースに、主任先生、園長先生それぞれのワークショップを重ねてたたき台を作成。さらに学識の先生のアドバイスをいただいて完成、というステップを踏むことになりました。

### ☆ワークショップのポイント

現場の声を積み上げ、管理者の立場からの声を入れてまとめる。このプロセスは、とても有意義なものとなりました。

主任先生、園長先生の前向きな考え方を聞いていると、この自治体の保育園に通うって子どもにとっても、素敵なことのように思えました。何度もお付き合いいただきました。（感謝）

さらに、学識の先生からは、ジェンダーの視点を入れるようにアドバイスをいただきました。小学校に行く前、そのもっと前からジェンダー意識は刷り込まれていくんだということを共有し、保育に活かしていくには？をワークショップで検討しました。新しい保育の視点をいれてくださいました。

### ☆最後のまとめは

担当の保育士さんがご自分の思いもいれて、コメントを入れてくださいました。まさに餅は餅屋。分かりやすい表現で、チェックしながら前向きになれるものになりました。専門家、学識の先生とコラボすることの意義を改めて体験できました。完成したものは、以下の URL をご覧ください。

<https://www.city.minokamo.lg.jp/uploaded/attachment/13103.pdf>

\*初めての分野でしたが、子どもの権利条例をつかった経験も活用できました。そして、研究者の最新の情報もいただけて、ありがたい機会でした。IT関係の（野望のような）課題は残りましたが、まずは、みなさんがやる気になってくださることを願っています。

